

子ども食堂 どう運営

八学短大 佐藤ゼミが講演会

八戸

八戸学院短大の佐藤千恵子教授ゼミは26日、八戸市のデーリー東北ホールで、子ども食堂をテーマにした講演会を開いた。講師に、NPO法人インクルいわて(盛岡市)の山屋理恵理事長を招き、同法人が運営する子ども食堂などについて講話。参加した20人がメモを取るなどして熱心に耳を傾けた。

始めに、八戸で子ども食堂を開いている同短大の学生が、本年度の取り組みについて成果などを発表。

続いて、山屋理事長が運営側の立場から見る貧困支援などについて紹介した。

子ども食堂は一般的に、低価格

もしくは無料で食事を提供するが、山屋理事長はインクルいわてでの役割について「来てくれる子どもたちをお客さまとして思っていない」と強調。

「一緒にご飯を炊いたり、おに

ぎりを作ったりすることで生活習慣が身に付き、彼らの生きていく力になる」と持論を展開し、「子どもたちや親にとって選択肢を増やすことができる場になってほしい」と締めくくった。

子どもの孤食などを救う活動をしているNPO法人「Save Our Children Japan」の細越賢紀理事は「支援を広げるには地域との連携が大事だと感じた。さまざまなアイデアも浮かび勉強になった」と話していた。(玉川那津美)



貧困や子ども食堂の在り方などについて参加者が学んだ講演会